

【機械工学科】

基礎線形代数、基礎微分積分、確率・統計、微分方程式、
基礎力学、基礎化学、基礎物理学実験、基礎化学実験 再履修ガイドライン

機械工学科以外の学生は別紙を確認すること。

機械工学科の学生のうち、標記科目を再履修する者は、下記<注意>を確認したうえで、科目ごとに定められた優先順位に従って受講クラスを決定し、履修登録すること。なお、以下の方法をとった場合の2020年度以降入学の2年生の数学系科目：受講クラスの一例を、2ページ～3ページに表としてまとめておく。

<注意>

- 春学期に基礎線形代数1と基礎微分積分1の両方を再履修する場合は、基礎微分積分1の受講クラスを決めてから基礎線形代数1の受講クラスを決めること。また、基礎線形代数1と基礎微分積分1の少なくとも一方を再履修する場合は、必修科目ではない確率・統計の受講クラスの決定は後回しにすること。
- 秋学期に基礎線形代数2、基礎微分積分2、微分方程式から2つ以上の再履修が必要な場合、2年A, C, K, M, N, T組の学生は基礎微分積分2→微分方程式の順に、それ以外の学生（3年生以上含む）は微分方程式→基礎微分積分2の順に受講クラスを決め、基礎線形代数2の受講クラス決定は後回しにすること。

基礎線形代数1・2

- ①再履修クラス（再履修クラスが条件科目（必修・選択必修科目）同士で重複している場合は②へ。）
【注意】原則として、5組の学生は1限のクラス、6組の学生は2限のクラスを受講すること。
- ②所属学科の1年生の自分のクラス（所属学科の1年生クラスも条件科目同士で重複している場合は③へ。）
例）2年5組の学生が再履修クラスを受講できない場合は、1年5組のクラス
- ③所属学科の他クラス（所属学科のどのクラスも条件科目同士で重複している場合は④へ。）
例）2年5組の学生が1年5組のクラスも受講できない場合は、1年6組のクラス
- ④他の1年生クラス ※「所属学科以外の受講クラスの選び方」（2ページ）参照。
※ ④の場合は、Oh-o! Meiji アンケート「授業重複による授業時間変更申請アンケート」回答必須

基礎微分積分1・2、確率・統計、微分方程式

- ①所属学科の1年生の自分のクラス（これが他の科目（条件科目でなくてもよい）と重複している場合は②へ。）
例）2年5組→1年5組
- ②所属学科の他クラス（これも他の科目（条件科目でなくてもよい）と重複している場合は③へ。）
例）2年5組の学生が1年5組のクラスを受講できない場合は、1年6組のクラス
- ③他の1年生クラス ※「所属学科以外の受講クラスの選び方」（2ページ）参照。
※ ③の場合は、Oh-o! Meiji アンケート「授業重複による授業時間変更申請アンケート」回答必須

基礎力学1・2、基礎化学1・2 ※「授業重複による授業時間変更申請アンケート」回答不要

- ①所属学科の1年生クラス（これが他の科目（条件科目でなくてもよい）と重複している場合は②へ。）
- ②他の1年生クラス
※基礎化学1・2は、機械工学科の1年生クラスで履修すること。

基礎物理学実験1・2、基礎化学実験1・2

- ①自分の混合クラス（これが現在の学年の条件科目（必修科目又は選択必修科目）と重複している場合は②へ）
- ②他の混合クラス
※ ②の場合は、Oh-o! Meiji アンケート「授業重複による授業時間変更申請アンケート」回答必須
(2ページに続く)

所属学科以外の受講クラスの選び方

再履修クラスおよび機械工学科のクラスで受講できない場合、次の優先順位に従って受講クラスを決定し、履修登録すること。(1)が不可ならば(2)を選択、(2)が不可ならば(3)を選択・・・のようにすること。

基礎線形代数 1

- (1) 金曜 2 限 「1 年 1 4 組」
- (2) 金曜 4 限 「1 年 4 組」
- (3) 月曜 5 限 「1 年 1 0 b、1 1 組」

基礎線形代数 2

- (1) 金曜 2 限 「1 年 1 4 組」
- (2) 金曜 4 限 「1 年 4 組」

基礎微分積分 1

- (1) 金曜 1 限 「1 年 1 4 組」
- (2) 金曜 3 限 「1 年 1 5 組」
- (3) 金曜 4 限 「1 年 1 3 組」
- (4) 木曜 5 限 「1 年 1 7 組」

基礎微分積分 2

- (1) 金曜 1 限 「1 年 1 4 組」
- (2) 木曜 5 限 「1 年 3 組」
- (3) 金曜 3 限 「1 年 1 5 組」

確率・統計

- (1) 木曜 5 限 「1 年 9、1 0 a 組」

微分方程式

- (1) 金曜 2 限 「1 年 9、1 0 a 組」
- (2) 金曜 4 限 「1 年 3 組」
- (3) 月曜 2 限 「1 年 8 組」
- (4) 月曜 5 限 「1 年 1 0 b、1 1 組」

以上の方法に従うと、2020 年度以降入学の 2 年生の受講クラスは、(基礎物理学実験 1・2、基礎化学実験 1・2 の再履修が必要でない場合) 概ね以下のように決まるはずである。

<春学期> (網掛け部分については、以下に注釈あり。確率・統計の受講クラスは省略。)

学科クラス	混合クラス	基礎線形代数1	基礎微分積分1
5 組	A	火曜 1 限 (再履修クラス)	下記【注意 1】参照
	B	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
	C	火曜 1 限 (再履修クラス)	下記【注意 1】参照
	D	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	E	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
	F	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	G	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	H	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	I	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
	J	火曜 1 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
6 組	K	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
	L	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	M	火曜 2 限 (再履修クラス)	下記【注意 1】参照
	N	火曜 2 限 (再履修クラス)	下記【注意 1】参照
	O	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	P	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 2 限 (5 組)
	Q	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	R	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	S	火曜 2 限 (再履修クラス)	金曜 1 限 (1 4 組)
	T	火曜 2 限 (再履修クラス)	下記【注意 1】参照

【注意 1】 すべての「基礎微分積分 1」のクラスは、機械工学科 2 年次向け科目と重複している。金曜午前の語学の履修クラスを別のクラスに変更して、金曜 1 限 (1 4 組)、または、金曜 2 限 (5 組) の基礎微分積分 1 を受講するなど、各自工夫すること。(3 ページに続く)

<秋学期> (網掛け部分については、以下に注釈あり。)

学科クラス	混合クラス	基礎線形代数2	基礎微分積分2	微分方程式
5組	A	火曜1限(再履修クラス)	木曜4限(6組)	月曜5限(10b、11組)
	B	火曜1限(再履修クラス)	金曜2限(5組)	木曜4限(5組)
	C	火曜1限(再履修クラス)	木曜4限(6組)	月曜5限(10b、11組)
	D	火曜1限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	木曜4限(5組)
	E	火曜1限(再履修クラス)	金曜2限(5組)	木曜4限(5組)
	F	火曜1限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	木曜4限(5組)
	G	火曜1限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	木曜4限(5組)
	H	火曜1限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	木曜4限(5組)
	I	火曜1限(再履修クラス)	金曜2限(5組)	木曜4限(5組)
	J	火曜1限(再履修クラス)	金曜2限(5組)	木曜4限(5組)
6組	K	火曜2限(再履修クラス)	金曜2限(5組)	月曜5限(10b、11組)
	L	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	月曜5限(10b、11組)
	M	火曜2限(再履修クラス)	下記【注意3】参照	月曜2限(8組)
	N	火曜2限(再履修クラス)	下記【注意3】参照	月曜2限(8組)
	O	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	月曜5限(10b、11組)
	P	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	金曜2限(9、10a組)
	Q	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	月曜2限(8組)
	R	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	月曜5限(10b、11組)
	S	火曜2限(再履修クラス)	金曜1限(14組)	月曜2限(8組)
	T	火曜2限(再履修クラス)	下記【注意3】参照	月曜5限(10b、11組)

【注意2】 A組・C組の学生について

- 基礎微分積分2の単位を修得済みであるが、微分方程式の再履修が必要な場合は、木曜4限(5組)のクラスを受講すること。
- 秋学期金曜4限の「応用数理概論2」を履修せずに、微分方程式を金曜4限(3組)で受講するという方法もある。

【注意3】 M組・N組・T組の学生について

これらのクラスの一部の学生は、すべての「基礎微分積分2」のクラスが、機械工学科2年次向け科目と重複している。金曜午前の語学の履修クラスを別のクラスに変更して、金曜1限(14組)、または、金曜2限(5組)の基礎微分積分2を受講する、あるいは、木曜5限の機械工学科・専門科目(条件科目ではない)の履修を3年次以降に回して、木曜5限(3組)の基礎微分積分2を受講する、など各自工夫すること。

【注意4】 6組の学生について

- 秋学期金曜4限の「応用数理概論2」を履修せずに、微分方程式を金曜4限(3組)で受講するという方法もある。
- K組の学生で、基礎微分積分2の単位を修得済みであるが、微分方程式の再履修が必要な場合は、金曜2限(9、10a組)のクラスを受講してもよい。
- 「機械設計製図A」を秋学期月曜3・4限に履修する6組の学生は、木曜4限に、基礎微分積分2(6組)、または、微分方程式(5組)を履修するとよい。

以上